

環境調査結果のお知らせ

令和7年6月30日13時から浦ノ内湾の環境調査を実施しました。

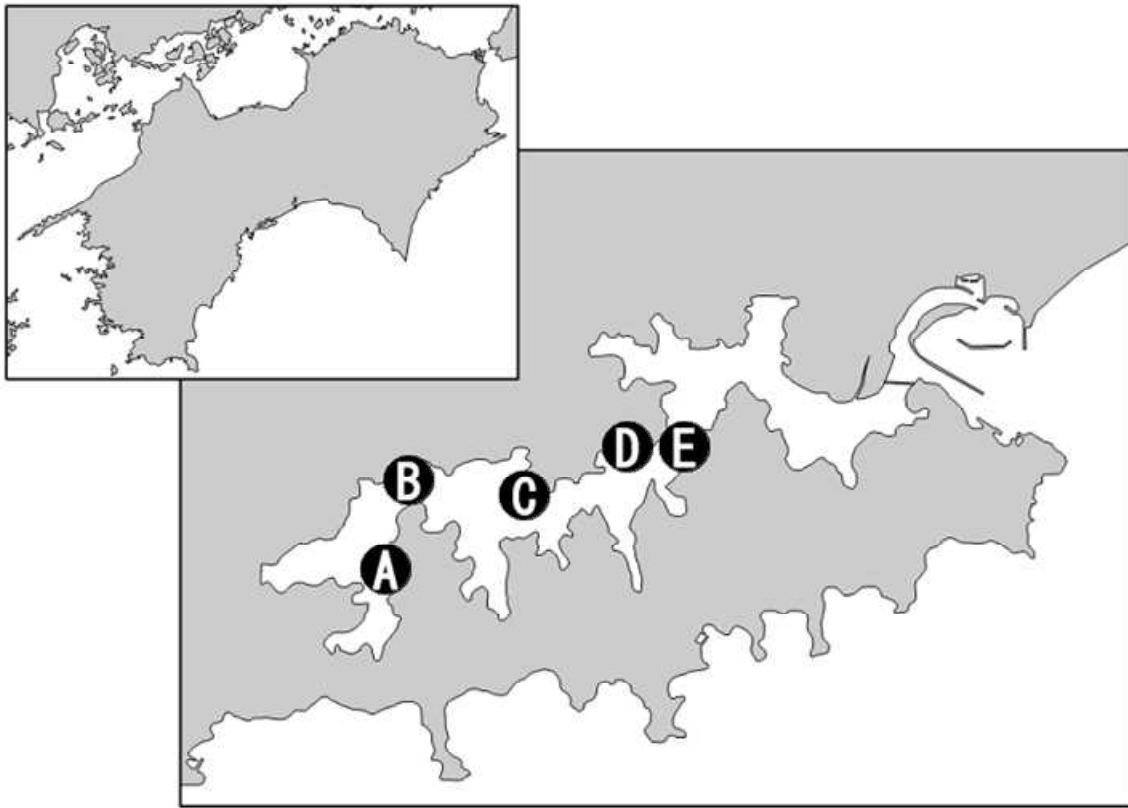
概況

検鏡の結果、魚類に対して有害なディクチオカ属が最高で2 cells/mL、ケラチウム属が最高で72 cells/mL確認されました。ケラチウム属は100 cells/mL以上で、養殖魚の餌食い悪化が懸念されますので注意してください。

すべての調査定点において、表層水温が30℃を超えています。また、すべての調査定点において底層が、中学校前では底層に加えて10 m層が貧酸素状態になっていますので注意してください。

海や養殖魚、貝類の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン		
	深度	水温	塩分	溶存酸素	ディクチオカ 属	ケラチウム 属	珪藻
	(m)	(℃)		(mg/L)			
A 鳴無 (4.5m) 【13:53】	0	30.7	28.3	11.8	0	1	-
	2	26.8	29.8	11.4	0	17	-
	5	24.6	30.3	4.7	0	19	-
	底層 8	24.2	30.5	2.5	0	26	-
B 中学校前 (3m) 【14:00】	0	30.6	26.0	12.6	0	0	5,900
	2	28.0	29.1	13.1	0	2	3,500
	5	24.9	30.1	6.2	0	33	180
	10	23.9	30.6	3.1	2	30	900
	底層 11	23.8	30.7	1.6	0	32	600
C 目ノクソ (4.7m) 【14:14】	0	30.9	27.5	11.3	0	3	-
	2	27.0	29.6	12.5	0	7	-
	5	25.3	30.3	9.0	0	26	-
	10	24.3	30.8	4.0	0	25	-
	底層 14.5	23.5	31.0	0.7	0	0	-
D 光松 (4m) 【14:28】	0	30.9	27.1	10.9	0	4	6,000
	2	27.3	29.5	12.4	0	4	3,500
	5	25.7	30.5	9.7	0	66	1,200
	10	24.6	31.0	5.1	1	2	680
	底層 16	23.0	31.2	0.1	0	0	140
E 大鹿 (4m) 【14:34】	0	30.9	27.1	10.9	0	2	-
	2	26.6	29.9	12.2	0	4	-
	5	25.4	30.8	8.6	1	72	-
	10	24.7	30.9	5.3	0	0	-
	底層 15.5	23.0	31.2	0.1	0	0	-



A: 鳴無 D: 光松
 B: 中学校前 E: 大鹿
 C: 目ノクソ

参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準（※1）	警戒基準（※2）	主な赤潮発生時期 ※3		
				浦ノ内湾	野見湾	宿毛湾
<i>Karenia mikimotoi</i> (カレニア・ミキモトイ)	魚類等のへい死	100 cells/mL	1,000 cells/mL	5～8月	6～8月	—
<i>Chattonella</i> spp. (シャットネラ属)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	6～8月	—	—
<i>Cochlodinium polykrikoides</i> (コクロディニウム・ポリクリコイデス)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	—	2～4月	5～6月
<i>Heterosigma akashiwo</i> (ヘテロシグマ・アカシオ)	魚類等のへい死	5,000 cells/mL	50,000 cells/mL	3～12月	4～8月	4～11月
<i>Dictyocha</i> spp. (ディクチオカ属)	魚類等のへい死	—	5,000 cells/mL	6～7月	4月	—
<i>Takayama</i> spp. (タカヤマ属)	魚類等のへい死	—	10,000 cells/mL	8～9月	—	—
<i>Ceratium</i> spp. (ケラチウム属)	魚類の餌食い悪化	100 cells/mL	—			
<i>Heterocapsa circularisquama</i> (ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ)	二枚貝のへい死	—	500 cells/mL	8～11月	—	—
<i>Alexandrium</i> spp. (アレキサンドリウム属)	二枚貝の毒化	10 cells/mL	100 cells/mL	—	1～4月	3～5月
<i>Gymnodinium catenatum</i> (ギムノディニウム・カテナータム)	二枚貝の毒化	—	1 cell/mL	—	—	2～7月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死 並びに 二枚貝の毒化が想定される密度

※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。